

「とうごうトレンド」

「今、この人に会いたい！」

今、東郷町でキラリと輝いている人にフィーチャー！

“将棋の全国大会に兄弟で初出場
勝つ喜びを力に、プロを目指す”

東郷町立高嶺小学校

みやじま たいち みつき
宮嶋 太一さん・三來さん

「力を出し切って勝てた時が楽しい」と口をそろえる宮嶋太一さん（高嶺小6年）、三來さん（同4年）。兄弟で高め合いながら、将棋に熱中しています。俊英が集まる「文部科学大臣杯小・中学校将棋団体戦」でこの夏、初めて全国大会に臨みました。

力を合わせ全国ベスト4に 互いの棋風を生かし日々鍛錬

団体戦は3人1組で、各自が対局します。宮嶋さん兄弟は三來さんと同学年の竹中統矢^{たけなかつや}さんを誘い、昨年に続き2回目の挑戦。19組が参加した愛知県大会、32組による西日本大会を勝ち抜きました。太一さんは「力を合わせて頑張った。個人競技だけれど、声を掛け合うなど絆が大切」と振り返ります。

8月に東京であった決勝大会には、4組が進出。高嶺小は勝利こそ逃したものの、強豪相手に健闘しました。「強い人と指すと勉強になる」と三來さん。棋譜を見返し、悪手を見極めることで成長できるのです。

3年前に遊びで始めた将棋。努力が勝ちにつながる喜びを知り、夢中になりました。毎日盤へ向かい、各地の教室やオンライン講座で学びます。対局者が身近にいるのはもちろん、兄は守り、弟は攻めと棋風が逆で、多彩な相手を想定できるのも強みです。

夢は共にプロ棋士。個人戦で県代表になるのが、目の下の目標です。将棋を通し、じっくり考える力が付いたという太一さん。「課題を分析し、上を目指したい」と力強く語りました。



PROFILE ▶▶▶ みやじま たいち みつき 宮嶋 太一・三來

高嶺小学校に通う6年生と4年生の兄弟。今年8月、文部科学大臣杯第22回小・中学校将棋団体戦で4位に入賞した。プロ棋士養成機関「奨励会」の下部組織「東海研修会」に所属。

私たちの元気のモト

太一さん「将棋の教室や大会を通じ、各地に同じ趣味を持つ友達ができました。お年寄りや指すこともあり、勉強になります」

三來さん「やっぱり将棋。勝負を気にせず、遊びで指すのも楽しい」